

岩手県感染症週報

平成17年第42週（10月17日～10月23日）

岩手県結核 感染症情報センター

第42週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

・つつがむし病の報告が1例ありました。患者は60歳代の女性です。

・レジオネラ症の報告が1例ありました。患者は50歳代の男性です。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

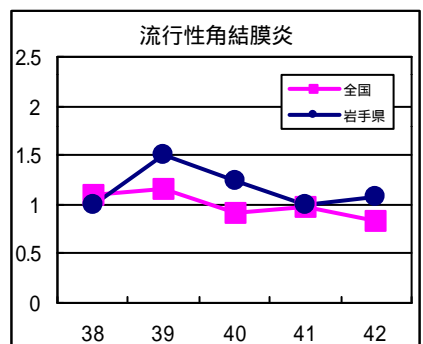
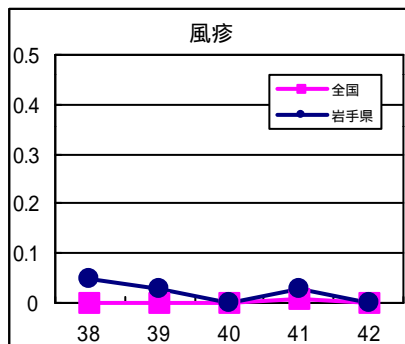
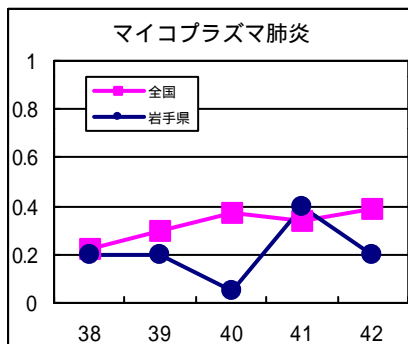
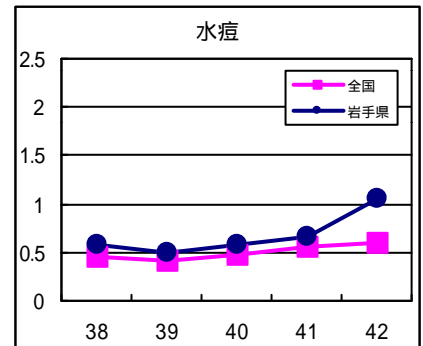
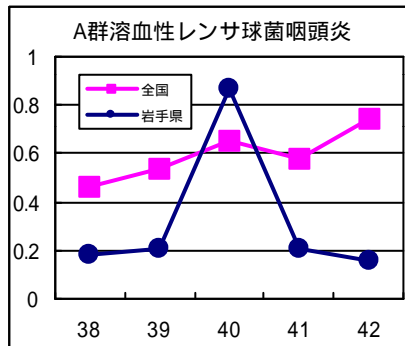
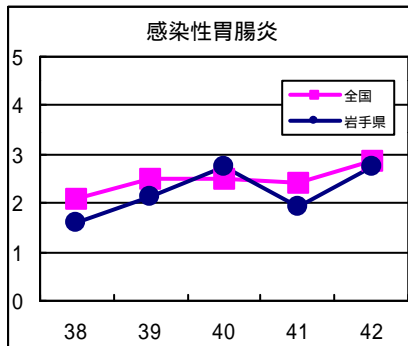
・感染性胃腸炎は、盛岡地区で患者が増加しており、同地区では定点当たり患者数が6.4人と昨年同期（同患者数1.6人）の約4倍の報告数となっています。県全体では、昨年の2倍程度の患者発生の報告が続いており、今後も患者の増加が予想されるので注意が必要です。

また、県内では今シーズンすでに2つの施設で集団感染事例が発生しており、今後、保育所や小学校、老人保健施設などでは、感染予防対策を十分に行うことが必要です。

・水痘は、この週には、盛岡、水沢地区で患者が増加しています。水沢地区では、定点当たり患者数が4.0人となり、今シーズン県内では最も多い患者発生数となりました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		38	39	40	41	42		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.24	0.22	0.19	0.17	0.16		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.18	0.21	0.87	0.21	0.16	→	
	全国	0.46	0.54	0.65	0.58	0.74		
感染性胃腸炎	岩手県	1.61	2.13	2.74	1.92	2.76	↗	
	全国	2.1	2.51	2.5	2.42	2.86		
水痘	岩手県	0.58	0.5	0.58	0.66	1.05	↗	
	全国	0.45	0.42	0.47	0.55	0.6		
手足口病	岩手県	0.71	0.34	0.61	0.45	0.39	↘	
	全国	0.59	0.47	0.4	0.4	0.37		
伝染性紅斑	岩手県	0.05	0.03	0.11	0.08	0.11	→	
	全国	0.11	0.13	0.13	0.11	0.13		
突発性発疹	岩手県	0.58	0.39	0.5	0.18	0.26	→	
	全国	0.68	0.72	0.73	0.66	0.66		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0.05	0.03	0	0.03	0	→	
	全国	0	0	0	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.76	0.39	0.5	0.58	0.32	↘	
	全国	0.57	0.44	0.31	0.27	0.24		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.29	0.42	0.45	0.5	0.53	→	
	全国	0.98	1.22	1.1	1.05	1.24		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1	1.5	1.25	1	1.08	→	
	全国	1.09	1.15	0.92	0.98	0.84		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	79	171	224				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.2	0.05	0.4	0.2	→	
	全国	0.22	0.3	0.37	0.34	0.39		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.02	0.01	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 38	39	40	41	42	累計	42	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	45	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	14	492	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	45	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	13	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	0	0	0	83	78	3107	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	9	567	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	14	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	28	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	3	3	232	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	7	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	2	125	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	47	
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	4	9	940	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	57	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	1	0	0	1	6	3	111	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	60	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	53	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	3	4	426	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	84	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	56	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	56	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
	レジオネラ症	0	0	0	0	1	1	9	205	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

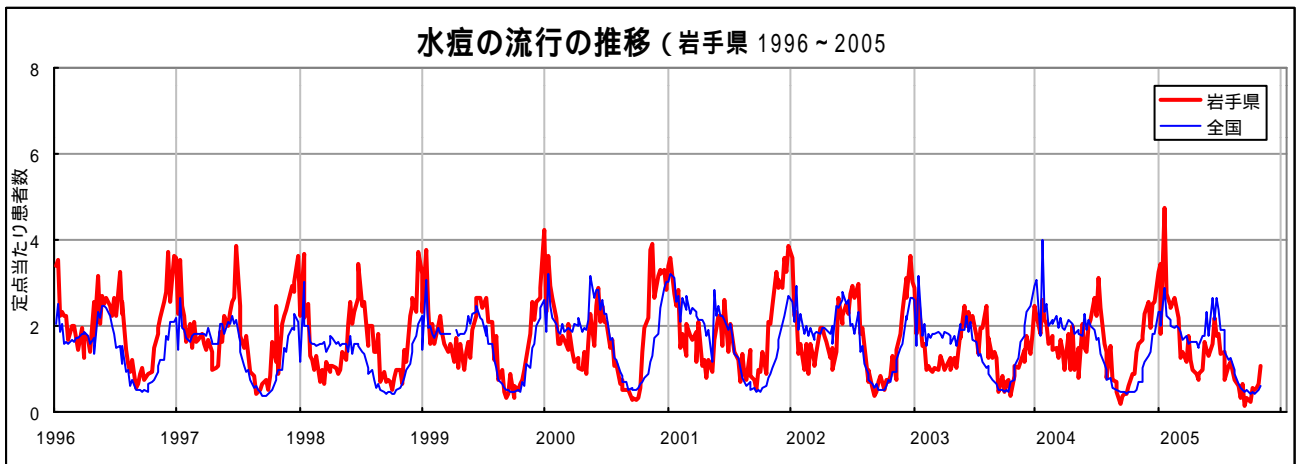
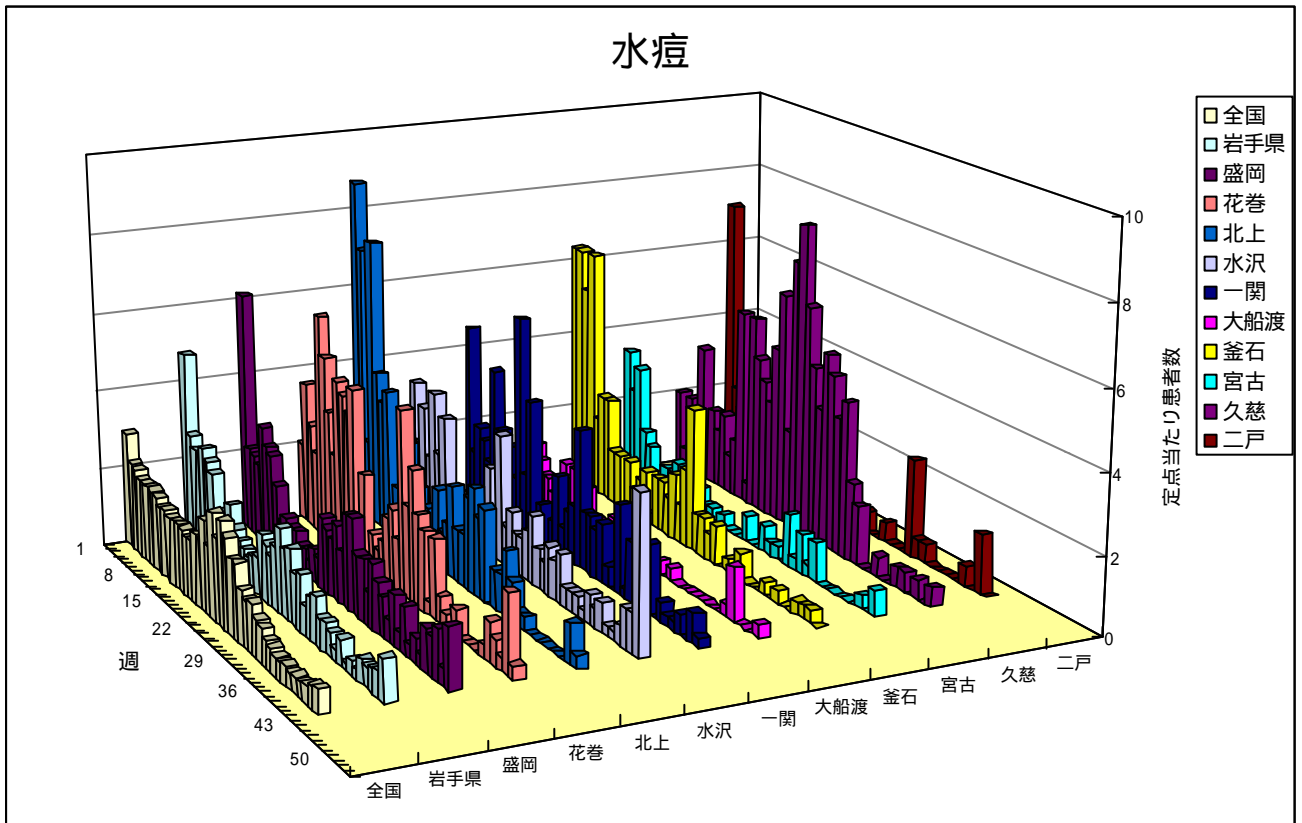
今注目の感染症

水痘

水痘は、本県では、毎年6月中旬と12月下旬の年2回の流行のピークがみられ、これから年末のピークに向けて患者数が増加する時期にはいる。

病原体の感染力は、麻疹よりは弱いが流行性耳下腺炎や風しんよりは強いとされ、家庭内接触での発症率は約90%と報告されている。潜伏期は2週間程度（10～21日）で、成人では発疹出現前に1～2日の発熱と全身倦怠感を伴うことがあるが、子供では通常発疹が初発症状である。臨床経過は一般に軽症だが、成人では重症化しやすく合併症の頻度も高い。合併症として、皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、中枢神経合併症などがある。

感染の予防には、患者との接触をさけることが重要であるが、ワクチンも有効である。日本では任意接種の扱いであるが、1回の接種での抗体獲得率は約92%である。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

幼稚園における有症事例の発生について（県保健衛生課）

盛岡保健所管内の幼稚園において、嘔吐、下痢を主症状とする有症事例の発生があり、複数の有症者から「ノロウイルス」が検出されたことから、「感染性胃腸炎」の集団発生事例と断定しました。
なお、患者は、軽症で、入院者はいません。

1 施設等

盛岡保健所管内の幼稚園（園児272名）

2 患者の状況

- ・10月25日（火）盛岡市内の医療機関から盛岡保健所に「嘔吐、下痢等の症状を呈する幼稚園児10名を診察、治療を行っている。」旨の連絡があり、疫学調査を実施した。

- ・有症者の状況（胃腸炎症状を呈して新たに欠席した者の数）

	10/25（火）	10/26（水）	10/27（木）
園児	33人	8人	32人
職員（有症者）	3人	-	-

- ・園児及び職員3名の検便の結果、2名からノロウイルスを検出した。

3 保健所の対応

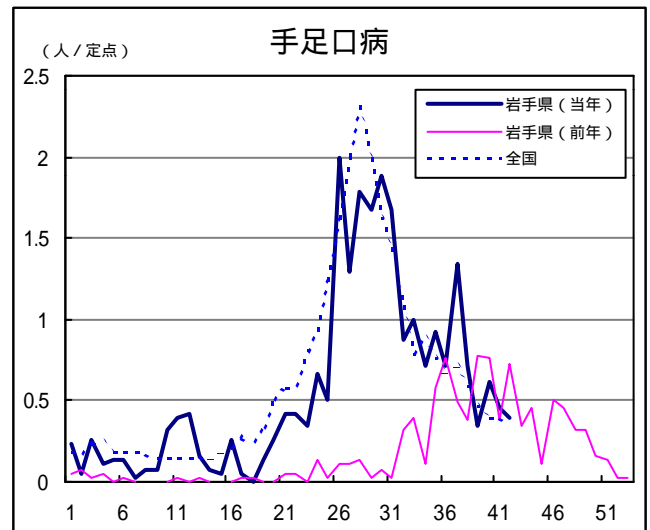
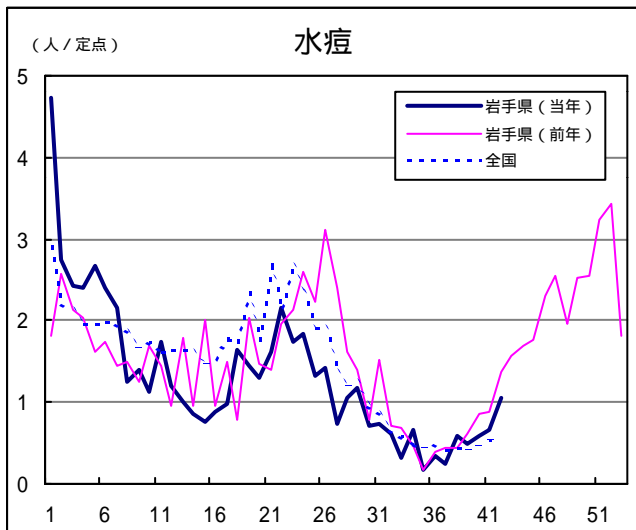
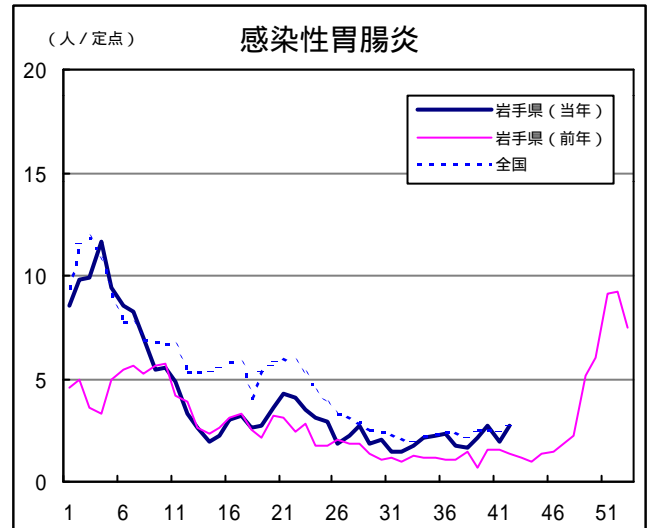
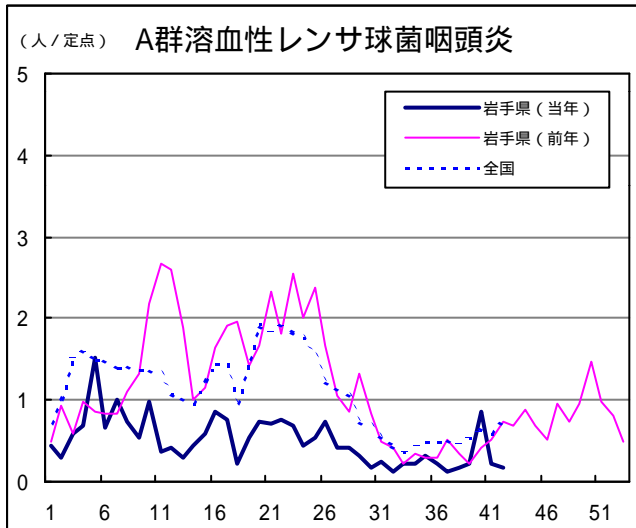
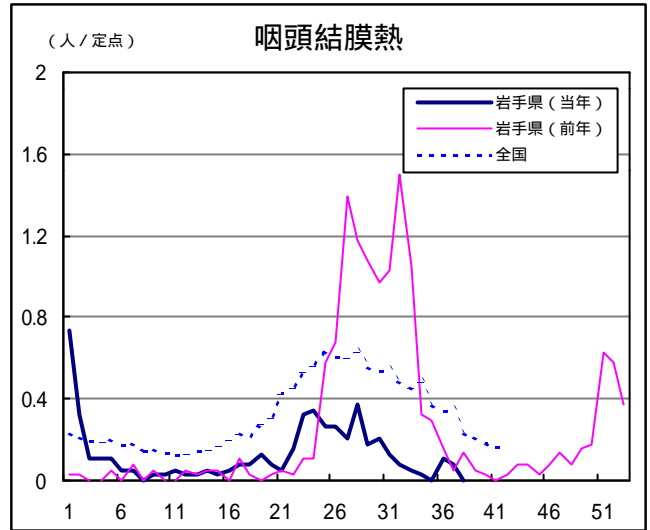
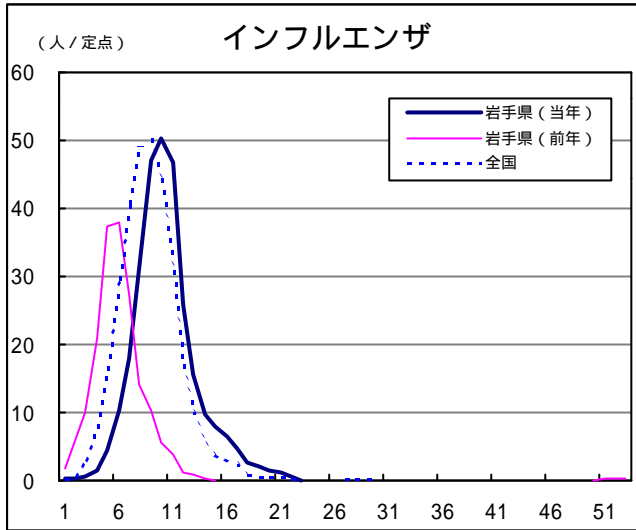
盛岡保健所では、幼稚園に対し消毒方法を指導するとともに、引き続き、疫学調査及び有症者の検便等を実施し、原因の究明に当たっている。

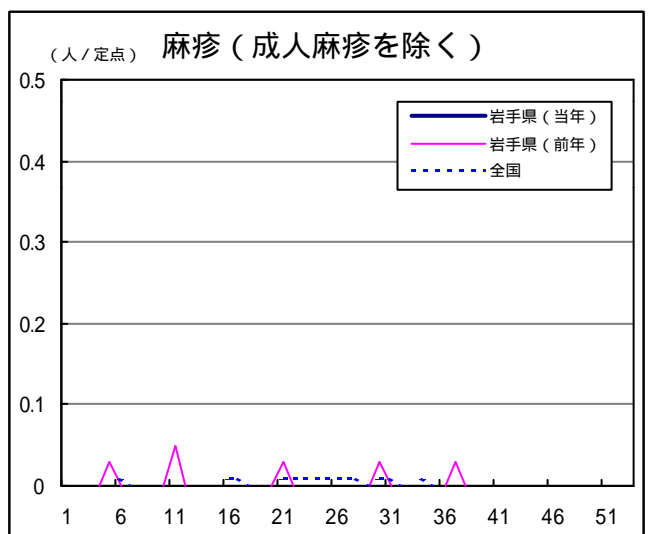
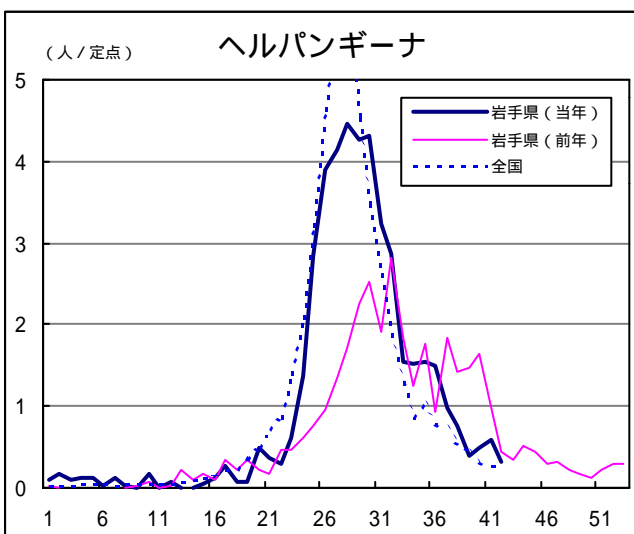
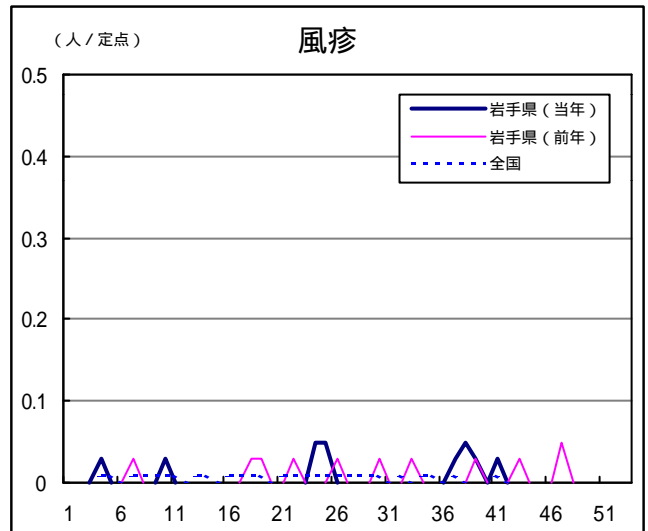
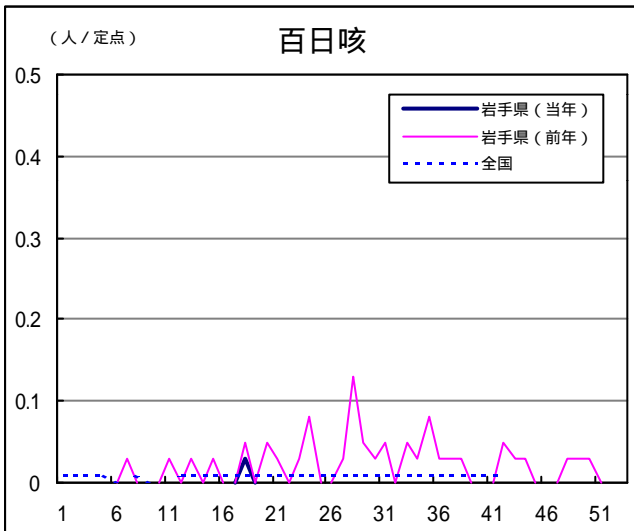
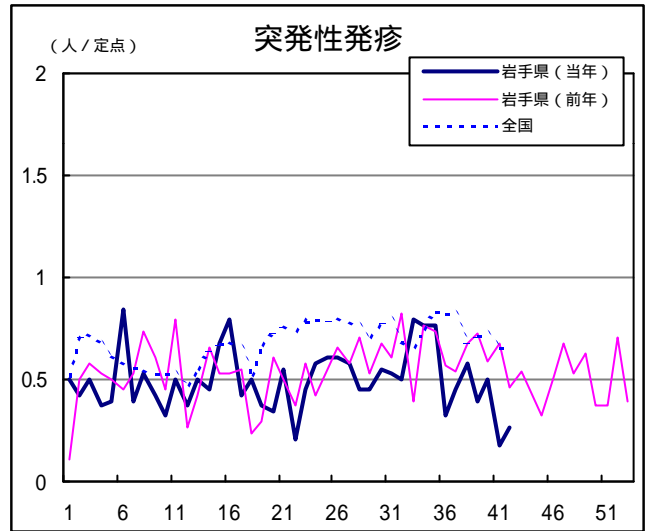
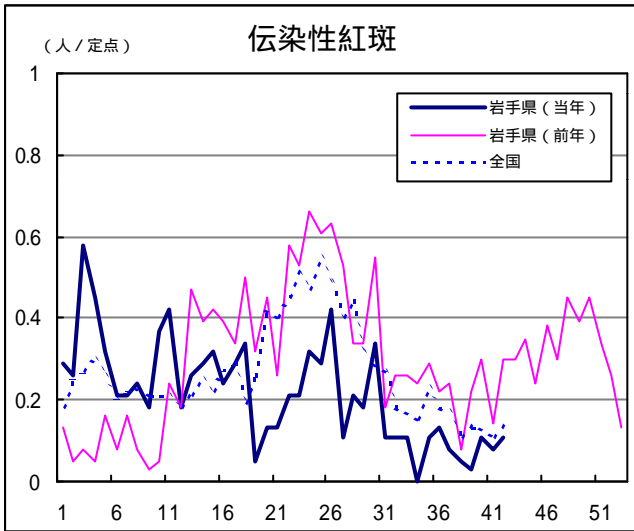
Q & A

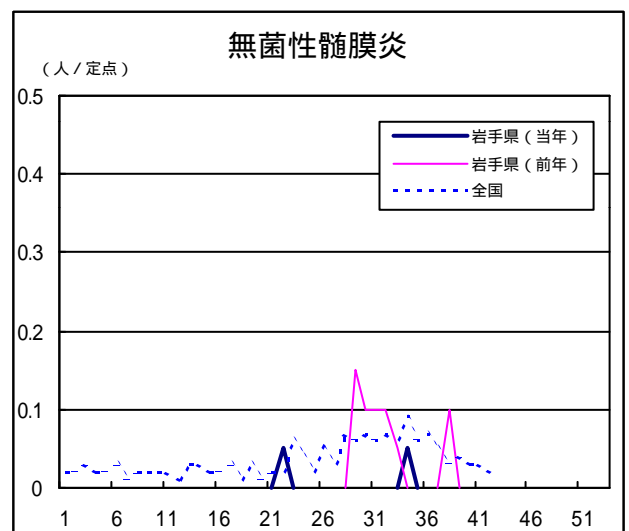
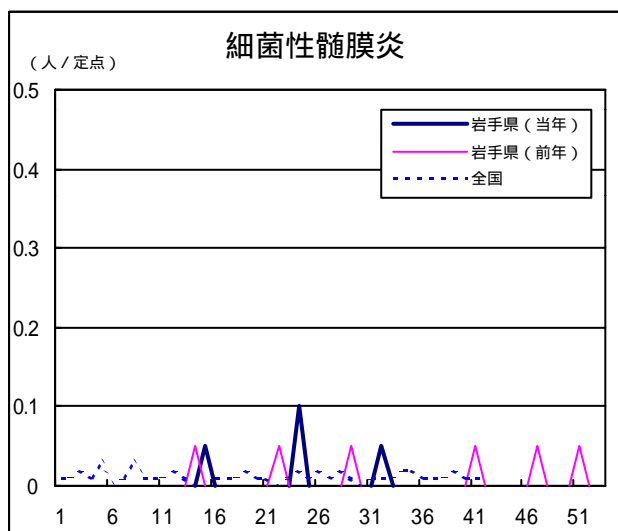
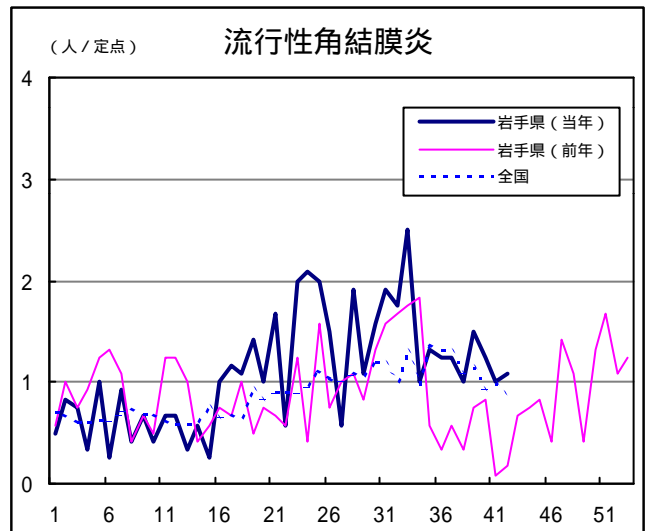
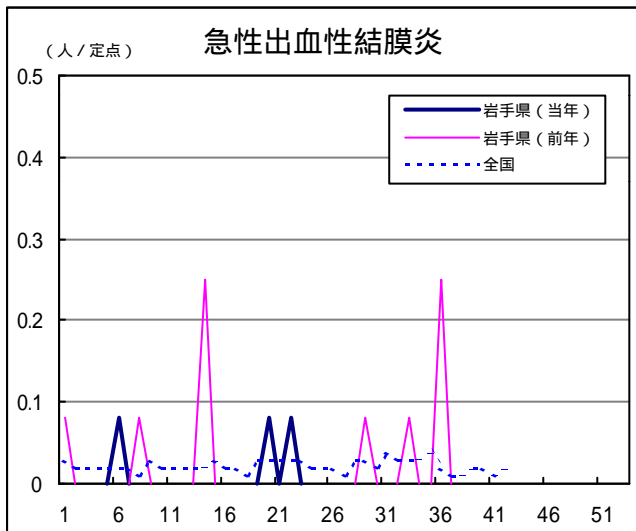
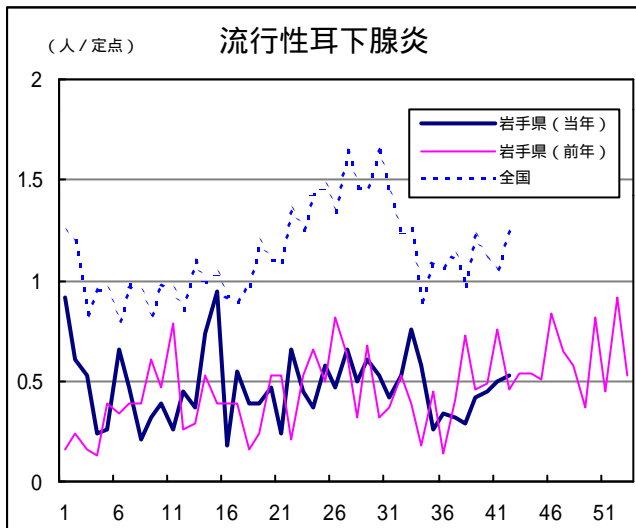
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

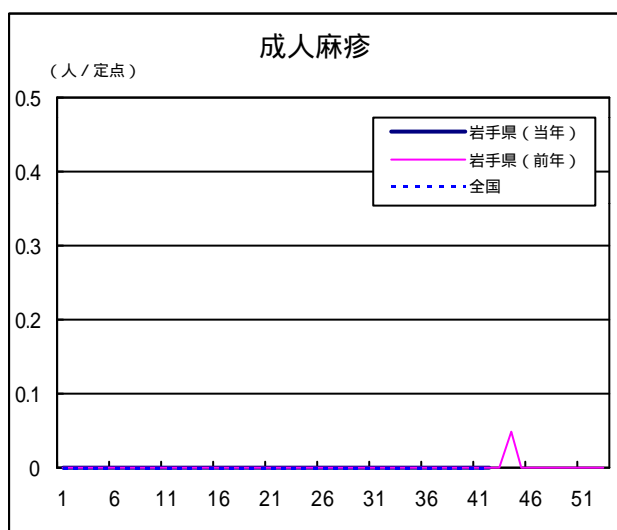
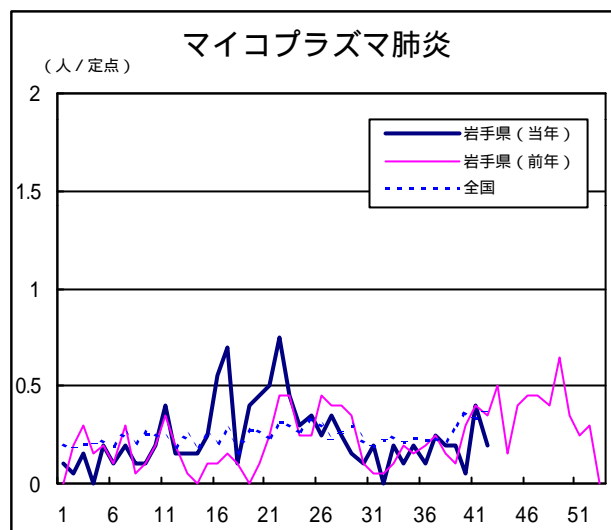
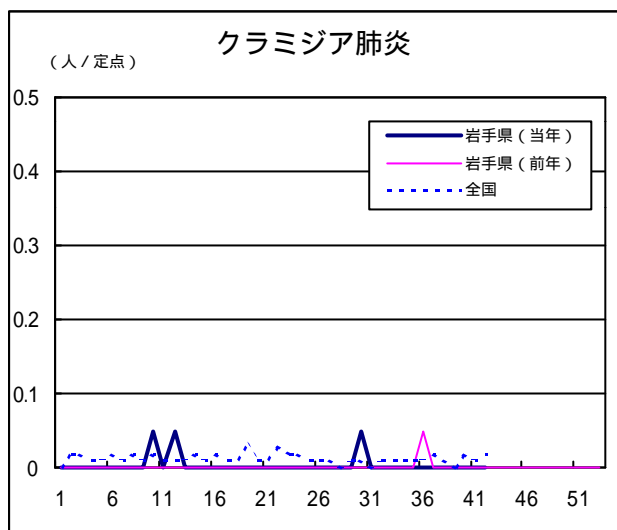
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

無料です!!

岩手県感染症週報 平成17年第42週 平成17年10月28日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>